

SD-WAN vSmartおよびvBondアクセスの回復

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[ステップ 1: 必要に応じてクレデンシャルのロックを解除する](#)

[オプションA. vManage GUIからクレデンシャルをロック解除する](#)

[選択肢B: 追加のクレデンシャルを設定したデバイスにSSHで接続する](#)

[ステップ 2: CLIテンプレートを使用したアクセスの回復](#)

[オプションA. CLIテンプレートに実行コンフィギュレーションを直接ロードする](#)

[オプションB. vManageデータベースから設定をロードする](#)

[ステップ 3: 新しい資格情報](#)

[選択肢A. 失われたパスワードを変更する](#)

[選択肢B. Netadmin権限で新しいユーザ名とパスワードを追加する](#)

[ステップ 4: デバイスへのテンプレートプッシュ](#)

概要

このドキュメントでは、クレデンシャルが失われた後にSD-WAN vSmartおよびvBondアクセスを回復する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

問題

vBondsおよびvSmartsへのアクセスが失われました。これは、ユーザがクレデンシャルを知らな

い、または記憶していない場合や、いずれかのインターフェイスにログインしようとして過剰に失敗した後にアクセスがロックされた場合に発生します。同時に、vManage、vSmarts、vBonds間の制御接続も確立されます。

解決方法

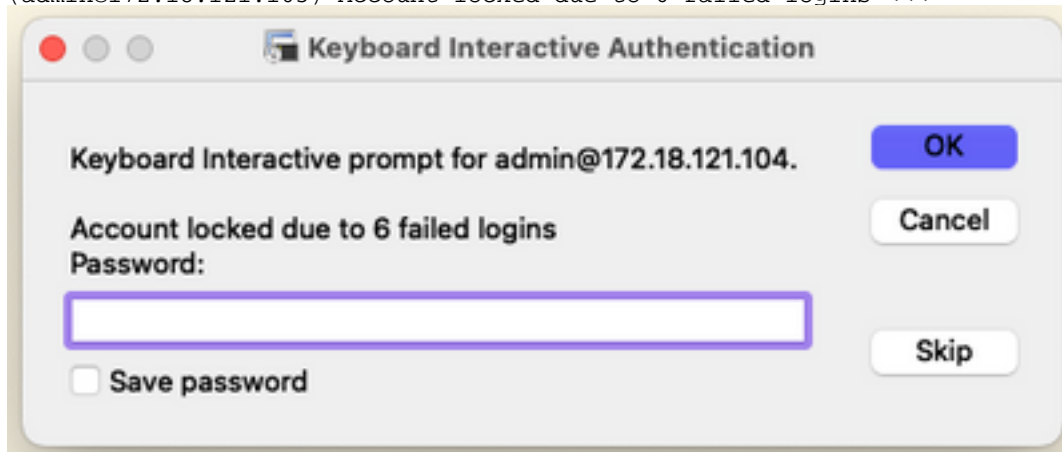
ステップ 1：必要に応じてクレデンシャルのロックを解除する

次の手順は、ロックされたユーザ名を特定し、そのロックを解除する方法を示しています。

- ログイン試行の失敗回数が多すぎるためにアカウントがロックされた場合は、ユーザ名を入力するたびに「Account locked due to X failed logins」というメッセージが表示されます。

```
host:~pc-host$ ssh admin@172.18.121.104 -p 22255  
viptela 20.6.3
```

```
(admin@172.18.121.105) Account locked due to 6 failed logins <<<
```

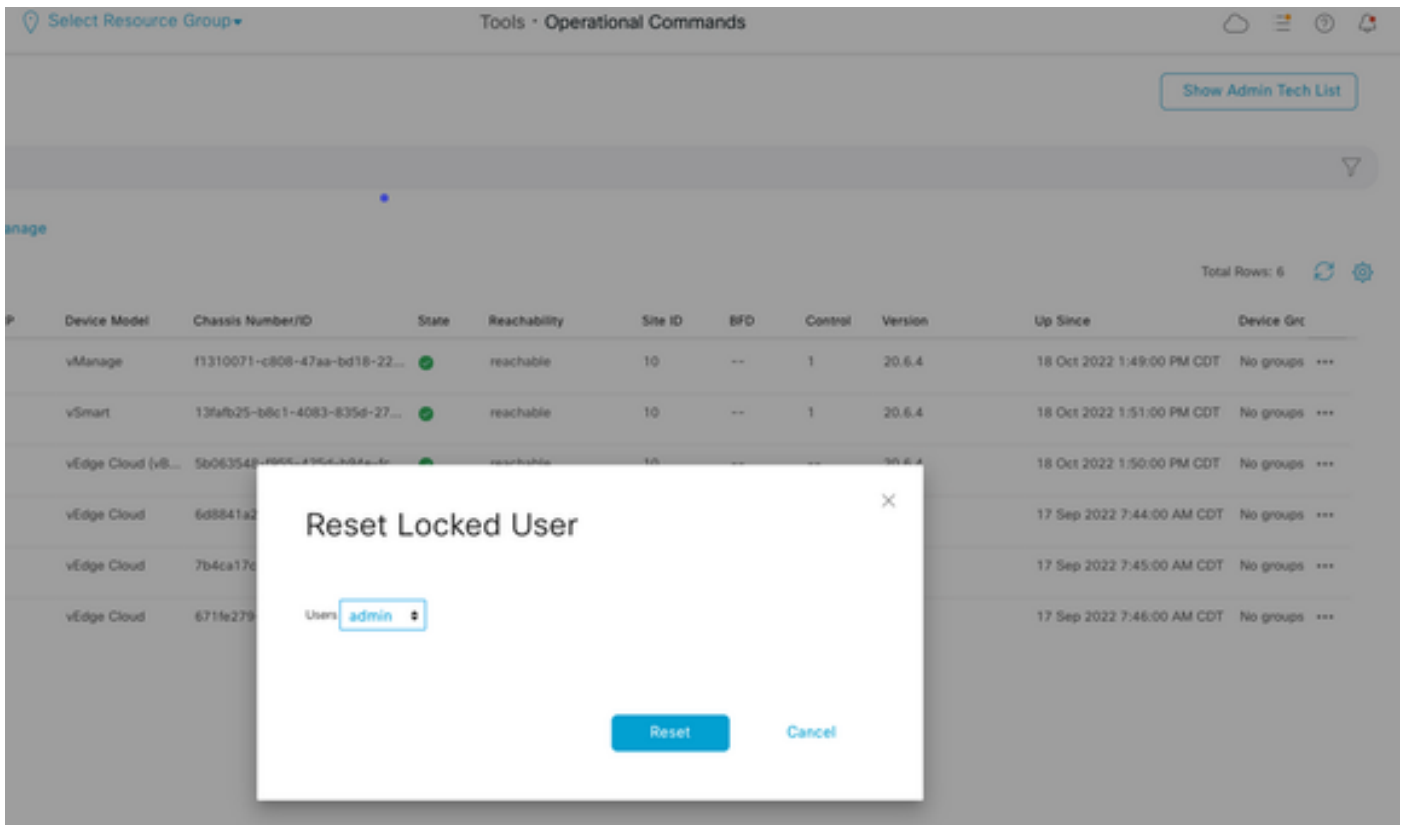


オプションA. vManage GUIからクレデンシャルをロック解除する

資格情報がロックされていることを確認したら、ロックを解除する必要があります。vManageを使用すると、この操作を簡単に実行できます。

- vManage GUIから任意のデバイスのクレデンシャルを手動でロック解除できます。

[vManage] > [Tools] > [Operational Commands] > [Device] > [...] > [Reset Locked User] > [Select User] > [Reset] に移動します。



選択肢B：追加のクレデンシャルを設定したデバイスにSSHで接続する

ロックされたクレデンシャルを確認するデバイスに追加のNetadminクレデンシャルを使用してSSH接続を確立している場合でも、CLIからロックを解除できます。

- 次のコマンドを実行できます。

```
request aaa unlock-user username
```

- クレデンシャルのロックを解除してもログインに失敗する場合は、パスワードを変更する必要があります。

ステップ 2：CLIテンプレートを使用したアクセスの回復

デバイスのパスワードの変更に役立つCLIテンプレートを作成する必要があります。CLIテンプレートがすでに作成され、デバイスに接続されている場合は、ステップ3に進みます。

オプションA. CLIテンプレートに実行コンフィギュレーションを直接ロードする

vManageでは、デバイスからCLIテンプレートに実行コンフィギュレーションを簡単にロードできます。

注：このオプションは、vManageバージョンによっては使用できません。オプションBを確認できます。

- 新しいCLIテンプレートの作成

[vManage] > [Configuration] > [Templates] > [Create Template] > [CLI template] に移動します。

- 選択したデバイスモデルに基づいて、vManageが実行コンフィギュレーションをロードするデバイスを選択できます。

Load Running config from reachable device: 10.2.2.1 vSmart1

- テンプレートを作成するには、[Device Model]、[Template Name]、および[Description]の値を入力する必要があります。

- CLIテンプレートで設定が生成されたら、ステップ4を確認してパスワードを変更できます。

オプションB. vManageデータベースから設定をロードする

CLIで設定を自動的にロードできない場合でも、手動でデバイスの設定を取得し、その情報からCLIテンプレートを作成できます。

- vManageは常に、データベースに保存されているすべてのデバイスからバックアップ設定を取得します。

[vManage] > [Configuration] > [Controllers] > [Device] > [...] > Running Configuration vManage] > [Configuration] > [Controllers] > [Device] > [...] > [Local Configuration] に移動します。

注： 実行とローカルの設定。実行コンフィギュレーションとは、vManageがデバイスの設定情報を要求する必要があることを意味します。ローカル設定とは、vManageがすでにデータベースに保存されている情報を表示することを意味します。

- ローカルコンフィギュレーションがポップアップ表示されたら、コンフィギュレーション全体をNotePadにコピーできます。

Local Configuration

```
no config
config
system
  host-name
  system-ip
  site-id 1
  admin-tech-on-failure
  no route-consistency-check
  no vrrp-advt-with-phymac
  organization-name CISCORTPLAB
  clock timezone America/Detroit
  vbond 192.168.25.195 local
aaa
  auth-order local radius tacacs
  usergroup basic
  task system read
  task interface read
  !
  usergroup netadmin
  !
  usergroup operator
  task system read
  task interface read
  task policy read
  task routing read
  task security read
  !
  usergroup tenantadmin
  !
  user admin
  password $6$9d6a880c2a69979f$D1ag5jX.F279uqaRDxFNbCMICBy7hoWIFpd5Etp.AsYR7Taelc9d.jX4jV66yFKaYfcWTJPQO0qRiU79FbPd80
  !
  ciscotacro-user true
  ciscotacrw-user true
  !
logging
  disk
  enable
  !
  !
ntp
  parent
  no enable
```

- 新しいCLIテンプレートを作成する必要があります。

[vManage] > [Configuration] > [Templates] > [Create Template] > [CLI template]に移動します。



- テンプレートを作成するには、[Device Model]、[Template Name]、[Description]、および[Config Preview]の値を入力する必要があります。ローカル設定からコピーした設定を設定プレビューに貼り付ける必要があります。

注意：vBondでは、vEdgeクラウドを選択する必要があります。その他のデバイスには、それぞれ固有のモデルがあります。

Device Model: vEdge Cloud

Template Name: vBond_recover_password

Description: vBond with new password

CLI Configuration: Load Running config from reachable device: - Select -

Config Preview

```
1 system
2 host-name
3 system-ip
4 site-id
5 admin-tech-on-failure
6 no route-consistency-check
7 no vrrp-adv-t-with-phymac
8 organization-name CISCORDPLAB
9 clock timezone America/Detroit
10 vbond 192.168.25.195 local
11 aaa
12 auth-order local radius tacacs
13 usergroup basic
14 | task system read
15 | task interface read
16 !
17 usergroup netadmin
18 !
19 usergroup operator
20 | task system read
21 | task interface read
22 | task policy read
23 | task routing read
24 | task security read
25 !
26 usergroup tenantadmin
27 !
28 user admin
29 password $6$9d6a880c2a69979f$D1ag5jX.F279uqaRDxFNbCMICBy7hoWIFpd5Etp.AsYR7Taelc9d.jX4jV66yFKaYfcWTJPQ00qRiU79FbPd80
30 !
31 ciscotacro-user true
32 ciscotacrw-user true
33 !
34 logging
35 disk
36 | enable
37 !
38 !
39 ntp
40 parent
41 | no enable
42 | stratum 5
43 exit
44 server ntp.esl.cisco.com
45 | source-interface ""
46 | vpn 0
47 | version 4
48 exit
49 !
50 !
51 omp
```

ステップ 3：新しい資格情報

テンプレートの作成後、暗号化されたパスワードを置き換えたり、新しいクレデンシャルを追加したりできます。

選択肢A.失われたパスワードを変更する

既知のパスワードを使用するように設定を変更できます。

- 暗号化されたパスワードを強調表示して、プレーンテキストで置き換えることができます。

```
27      !
28      user admin
29      password Cisc0123
30      !
```

注：このプレーンテキストのパスワードは、テンプレートのプッシュ後に暗号化されます。

選択肢B. Netadmin権限で新しいユーザ名とパスワードを追加する

パスワードの変更が許可されていない場合は、新しい資格情報を追加してアクセスを確保できます。

```
28      user admin
29      password $6$9d6a880c2a69979f$D1ag5jX.F279uqaRDxFNbCMICBy7hoWIFpd5Etp.AsYR7Taelc9d.jX4jV66yFKaYfcWTJJPQ00qRiU79FbPd80
30      !
31      user admin2
32      password Cisc0123
33      group netadmin
34      !
```

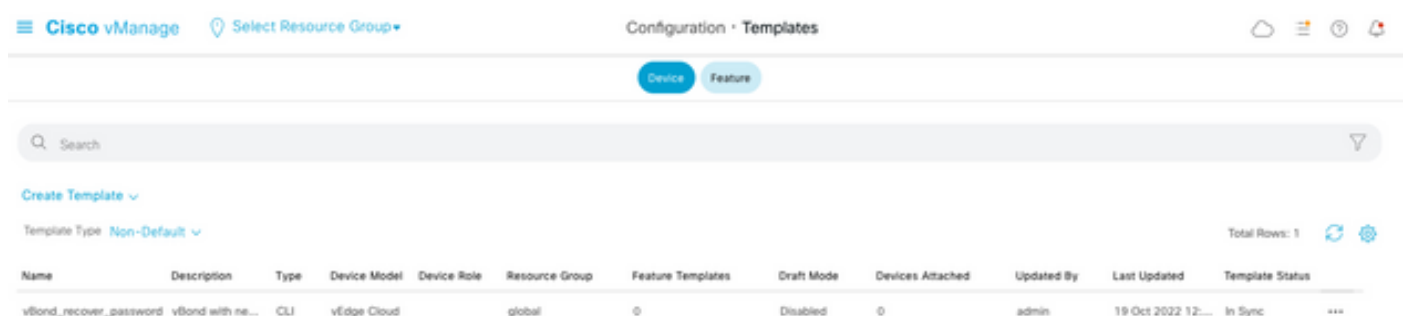
```
user newusername < Creates username
password password < Creates the password
group netadmin < Assigns read-write privileges
```

- [Add] をクリックして、テンプレートを保存します。

ステップ 4：デバイスへのテンプレートプッシュ

次の手順では、CLIテンプレートをデバイスにプッシュして、実行コンフィギュレーションを変更します。

- テンプレートを保存した後、デバイスに添付できます。



The screenshot shows the Cisco vManage interface for Configuration Templates. The page title is "Configuration · Templates". There are tabs for "Device" and "Feature". A search bar is present. Below the search bar, there is a "Create Template" dropdown and a "Template Type" dropdown set to "Non-Default". A table lists the templates. The table has columns: Name, Description, Type, Device Model, Device Role, Resource Group, Feature Templates, Draft Mode, Devices Attached, Updated By, Last Updated, and Template Status. One template is listed: "vBond_recover_password" with description "vBond with ne...", Type "CLI", Device Model "vEdge Cloud", Resource Group "global", Feature Templates "0", Draft Mode "Disabled", Devices Attached "0", Updated By "admin", Last Updated "19 Oct 2022 12:...", and Template Status "In Sync".

Name	Description	Type	Device Model	Device Role	Resource Group	Feature Templates	Draft Mode	Devices Attached	Updated By	Last Updated	Template Status
vBond_recover_password	vBond with ne...	CLI	vEdge Cloud		global	0	Disabled	0	admin	19 Oct 2022 12:...	In Sync

[vManage] > [Configuration] > [Templates] > [Select the Template] >... >デバイスを選択> [Attach] に移動します。

Attach Devices

Attach device from the list below

1 Items Selected

Available Devices Select All

All

Name	Device IP
e34702dc-5d62-4408-fe3b-178468d45b9d	
e8bbd848-ba58-f432-7df1-a3a39113ac15	
eb051e95-42e3-7112-ddd9-4a9c8b48e3ca	
ec3066f8-2392-a036-94e1-07d644ea662d	
f1fad728-c2a5-4824-749a-22fa99c57602	
f97c57d8-f6ae-bb65-4154-6e836b9d10e0	

Selected Devices Select All

All

Name	Device IP

Minimum allowed: 1

Attach

Cancel

- Attachをクリックして、設定のプレビューを確認します。
- Config Diffを確認すると、パスワードが変更されたか、新しいクレデンシャルが追加されたかのいずれかが確認できます。

The screenshot shows the Cisco vManage interface for configuring a device template. The 'Config Diff' view compares the 'Local Configuration' with the 'New Configuration'. The 'New Configuration' includes a new user 'admin2' with a password 'Cisc0123' and a group 'netadmin', which is highlighted in green. The 'Local Configuration' shows a user 'admin' with a long, complex password. The interface also includes a 'Device list' on the left and 'Configure Devices' and 'Cancel' buttons at the bottom.

- テンプレートをプッシュするには、[Configure Devices] をクリックします。
- vManageがTemplateプッシュが正常に終了したことを確認した後、新しいクレデンシャルを使用してSSH経由でデバイスにアクセスできます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。